

WATCH DATA

フラッグシップモデル「スヴラン」に加わる新機構。トゥールビヨンには、ジュルヌ氏が得意とするル「モントワール機構」を装備して、トルクの安定を図り、高精度を追求。トゥールビヨンでは珍しく、ステップ運針するデッドビートセコンドも搭載する。通常の2倍の速度で回転する様は圧巻。なお、エナメルダイヤルはブランド初となる。●手巻き ●プラチナケース×カーフストラップ ●ケース径/42mm ¥27,600,000(F.P.ジュルヌ東京ブティック)



トゥールビヨン部門

百花繚乱の複雑時計のなかで群を抜く独創性

「F.P.ジュルヌ」 「トゥールビヨン・スヴラン・ ヴァーティカル」



受賞の決め手!

「ダイヤルに対して
垂直にセットされた
トゥールビヨンは前代未聞」

松山 猛

毎年多くの新作が発表される「トゥールビヨン」だが、受賞したのは、さすがともいえるべき、孤高の天才時計師が腕を振るったユニークさ極まる最新作。通常のモデルと異なり、30秒で一周するキャリッジをダイヤル面にに対して垂直にセットしている。「面白い発想は、ひねくれ者のジュルヌさんらしい。飽和状態ともいえるハイコンプレッションの世界では、斬新さが求められるでしょう」と、ジュルヌ氏本人をよく知る松山猛さんは、独創性を評価する。「42mmのケースは腕になじむうえ、カーフストラップを採用しているので、デイリーユースしても不思議じゃない」と関口 優さんは、ユーザーフレンドリーな姿勢に共感。実際着用したときのキャリッジの向きを考慮してデザインされている。全体のバランスについては、「文字盤に対して垂直に動くトゥールビヨンという独創的な着想もさることながら、それをジュルヌ独特のスヴランのレイアウトに納めてみると、とてもチャーミングに映るのが魅力的です」という並木浩一さんの意見に代表されるように、さすがの審美性。センスのよい成功者が、腕元に颯爽と着用する姿が目につくだろう。

がスゴかった!



右/ケースバックから覗くと、複雑な機構がまぶらかに。「独創性と技術力、そして伝統的な時計製造への深い敬意も感じます」(上根)。左/レッドゴールド製の輪列受けには、クルド・バリ装飾が施され、キャリッジが収まる鏡面仕上げのリングと好対照をなしている。